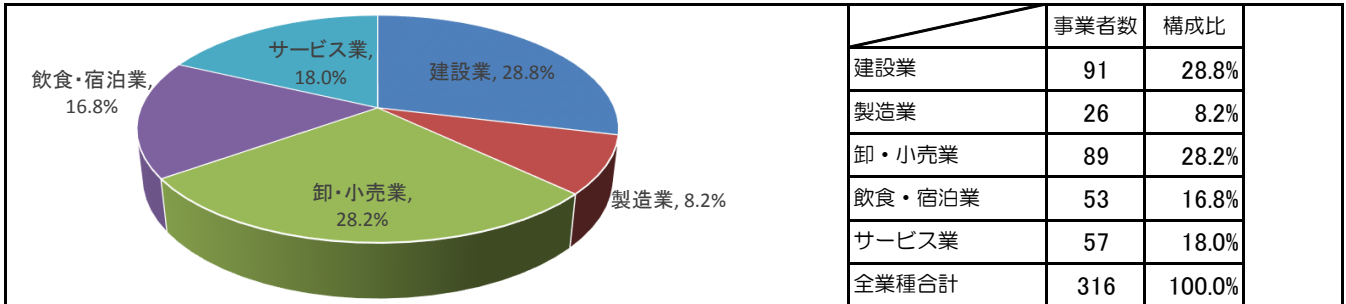


十日町市商工会地域 企業景況調査 第4四半期報告書（H30.1.1～H30.3.31）松之山地区

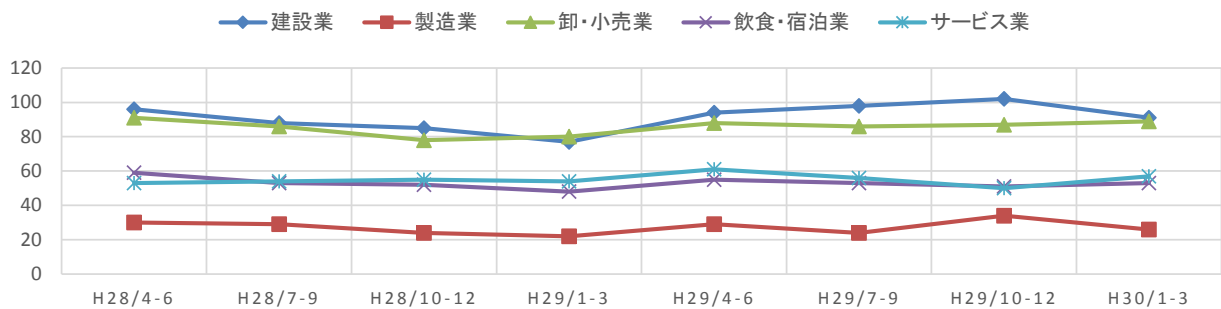
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<商工会地域市内全体>



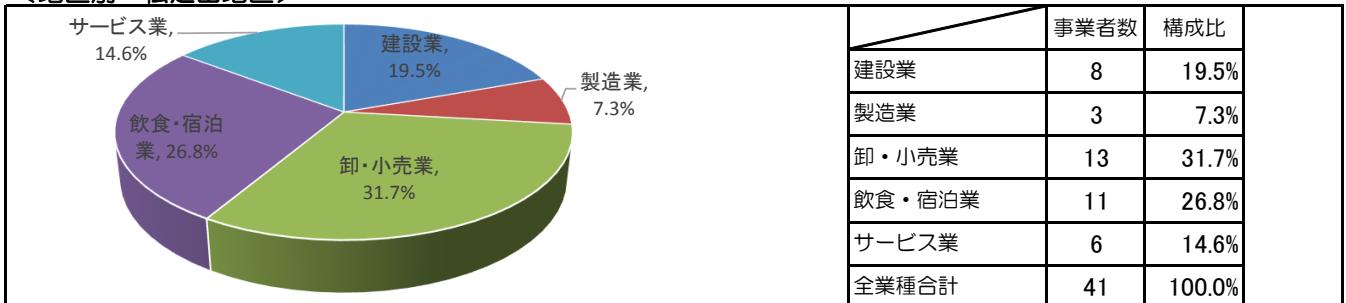
業種別調査事業所数の推移（市内全体）



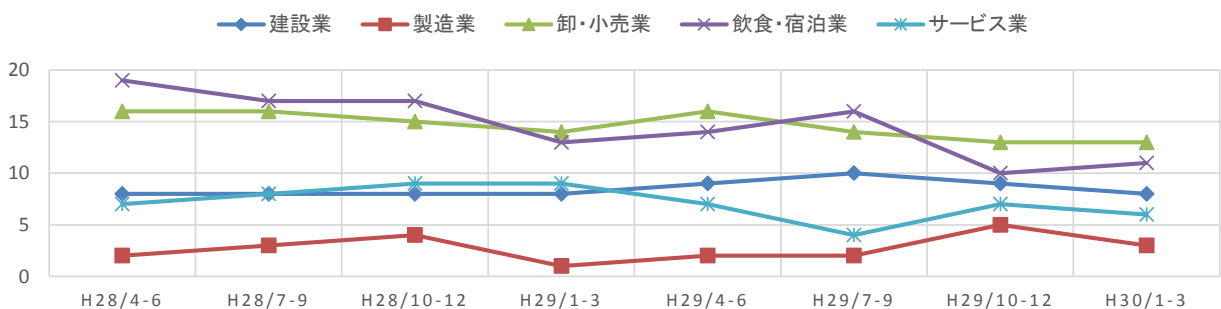
<コメント>

市内商工会地域全体の商工業者1056社の約29.9%からの回答を基に集計した結果である。製造業の割合が少ないものの、その他の業種に大きな偏りのない調査結果である。

<地区別：松之山地区>



業種別調査事業所数の推移（地区）



<コメント>

当地域の回答企業数であるが、飲食・宿泊業の回答数が多少回復したものの、全体では調査を始めてから最少数であった。（回収率65%）

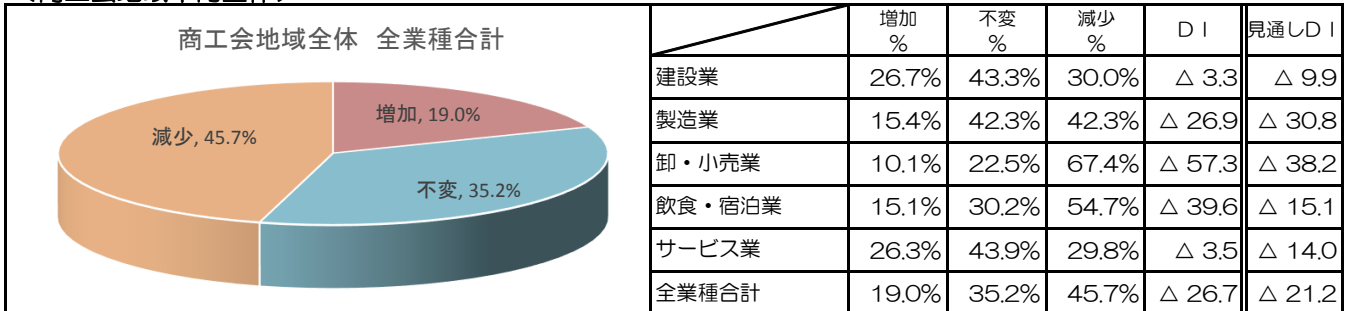
業種別では、建設業、サービス業、製造業の回答も減少傾向にあり、今後増やせるよう協力を募りたい。

D I 値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

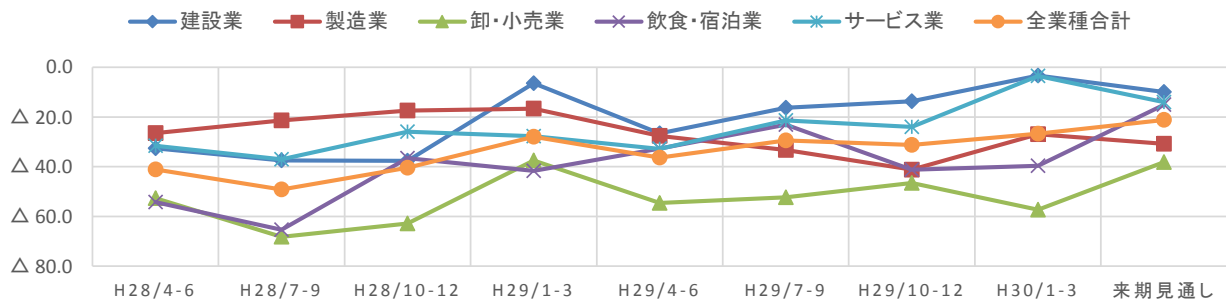
### 1. 売上について

- ・1月～3月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

#### <商工会地域市内全体>



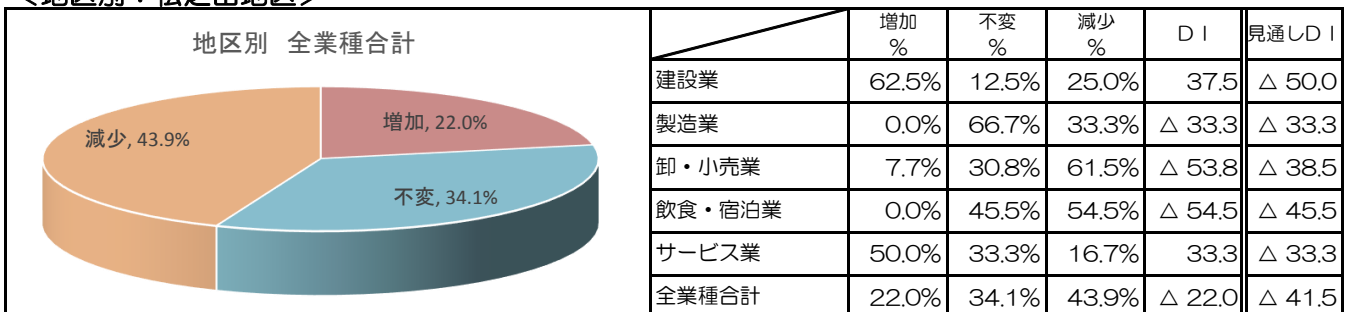
#### 業種別売上の推移（市内全体）



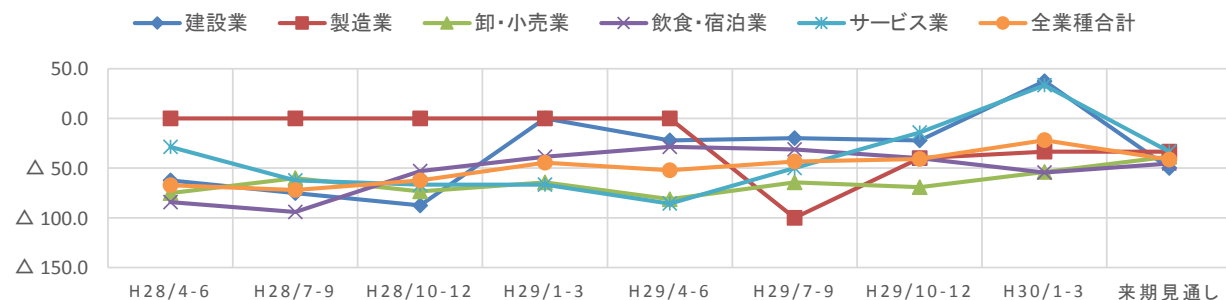
#### <コメント>

売上DIは、前年同期と比較して全業種で26.7ポイント減少となった。依然として卸・小売業の減少が目立つ。来期見通しDIは、全体的に回復傾向にあるものの建設業・製造業・サービス業においては、悪化傾向を予想している。

#### <地区別：松之山地区>



#### 業種別売上の推移（地区別）



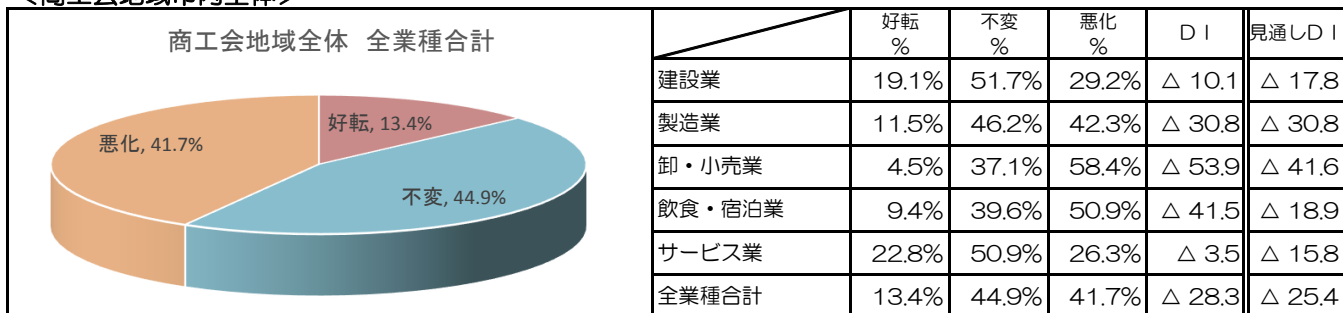
#### <コメント>

当地域の売上高であるが、全業種の前年同期比DIは△22.0ポイントであった。昨年度の同時期DIは、△44.4ポイントだったことから、大幅な改善になっている。建設業及びサービス業においては、プラス域にまでポイントが伸びている。その他の業種では飲食・宿泊業を除き、前期比で改善傾向にある。

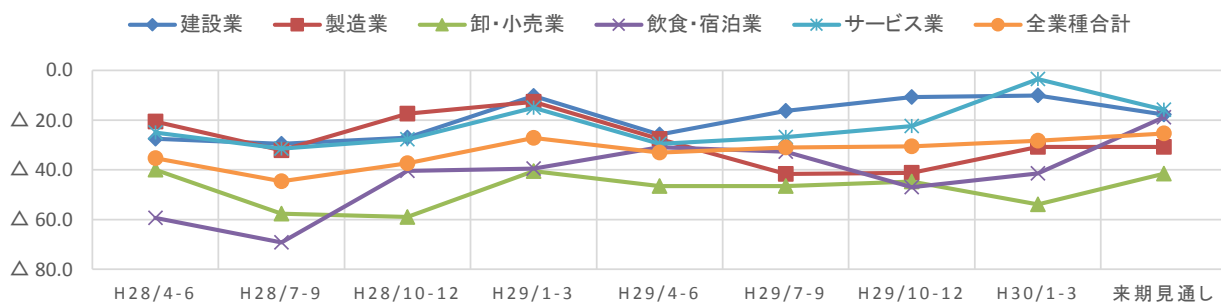
## 2. 採算について

- ・1月～3月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



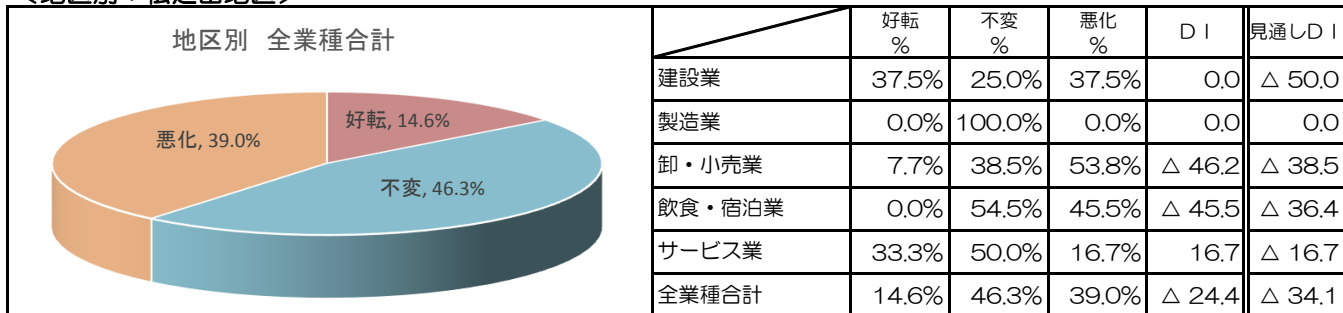
### 業種別採算の推移(市内全体)



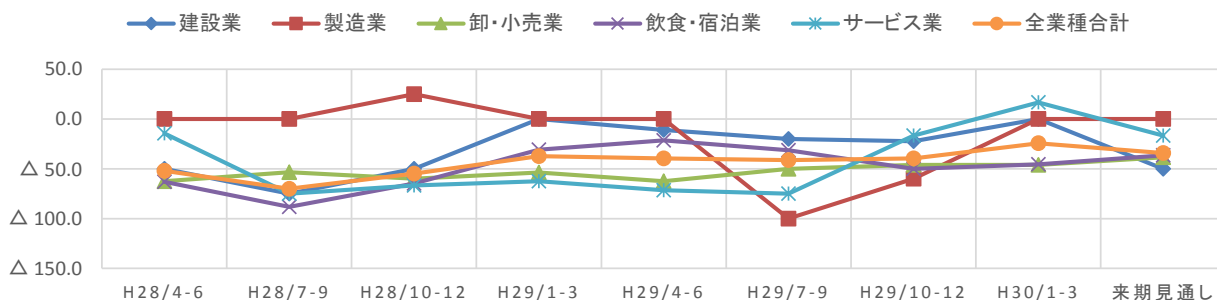
### <コメント>

採算D Iは、前年同期と比較して、全業種で28.3ポイント悪化。卸・小売業の悪化が目立つ。来期見通しD Iは、売上D Iと比例している。

### <地区別：松之山地区>



### 業種別採算の推移(地区別)



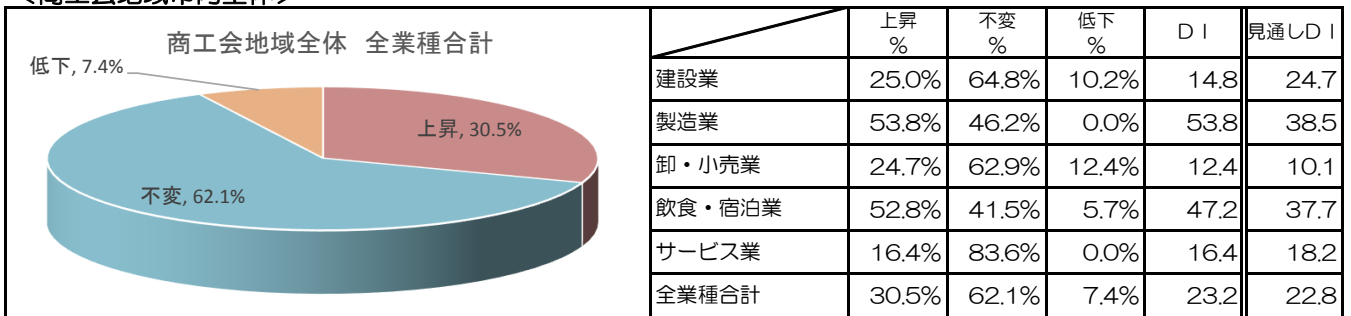
### <コメント>

当地区の採算の状況は、全業種で△24.4ポイントで、昨年度の同時期△37.2ポイントから12.8ポイント改善している。全ての業種でも前期比で改善が見られた。しかし、来期見通しでは建設業及びサービス業において悪化予想されており、今後の動向を注視したい。

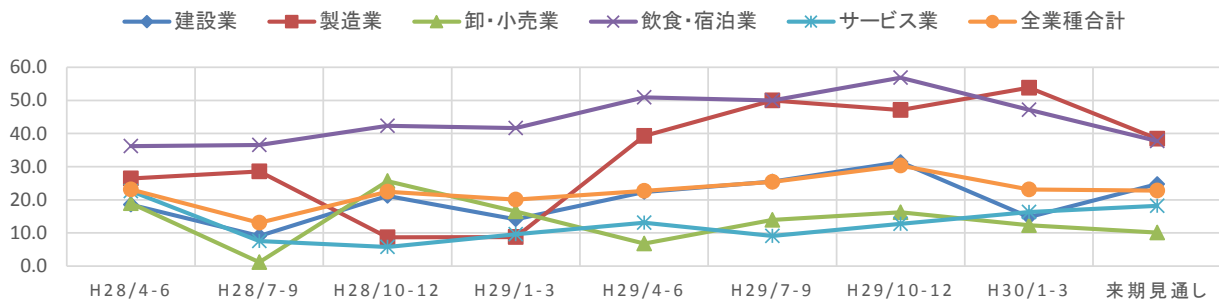
### 3. 仕入単価について

- ・1月～3月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

#### <商工会地域市内全体>



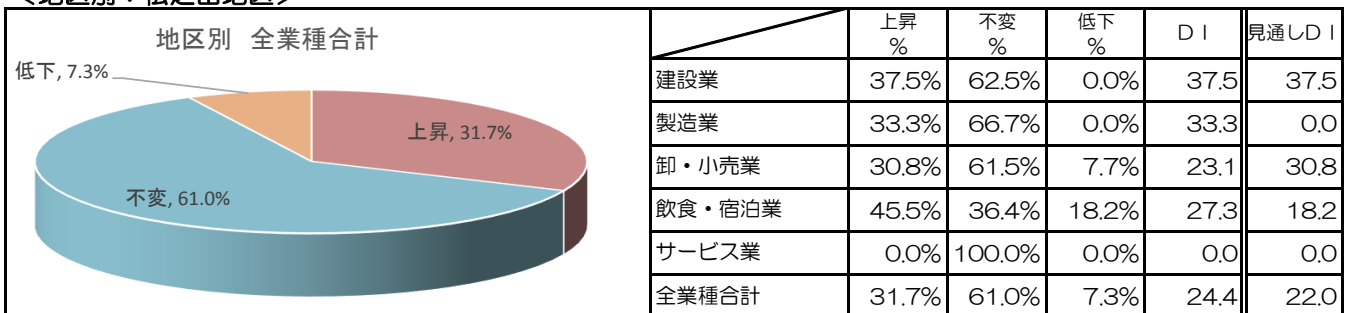
#### 業種別仕入単価の推移(市内全体)



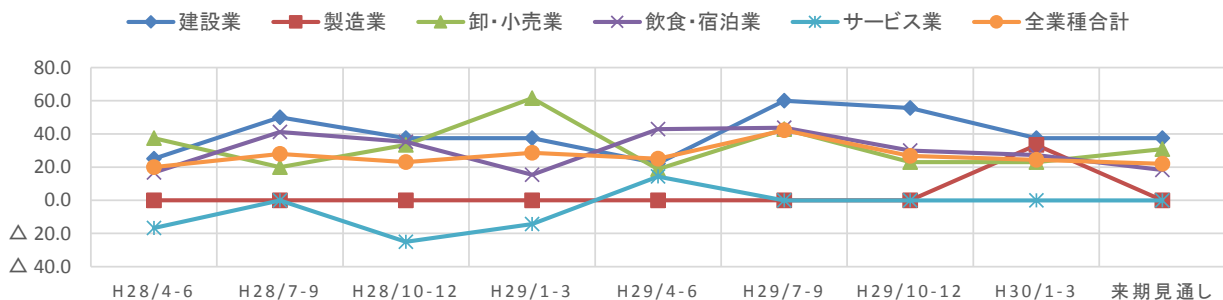
#### <コメント>

仕入単価DIは、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが23.2ポイント上昇。特に、飲食・宿泊業及び製造業の上昇が目立ち、売上原価を押し上げていると思われる。来期見通しDIでは、建設業は上昇予想であるが、その他業種では落ち着いていくと予想している。

#### <地区別：松之山地区>



#### 業種別仕入単価の推移(地区別)



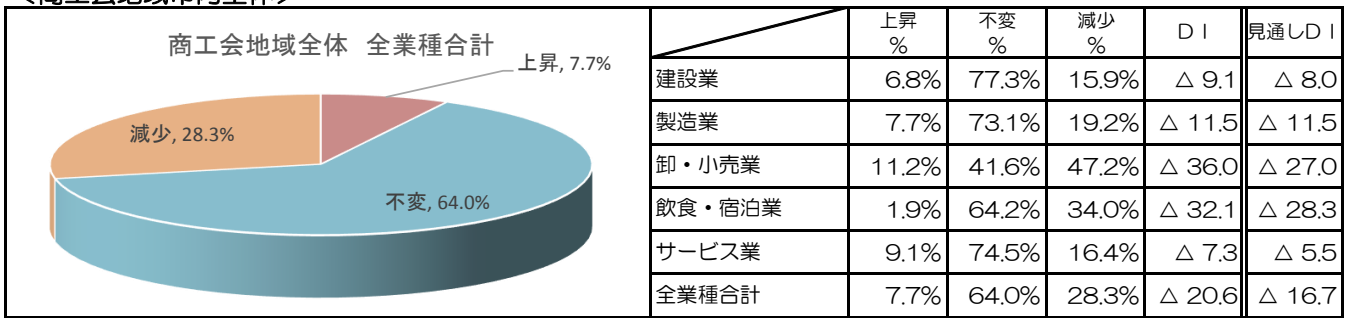
#### <コメント>

当地区の仕入単価状況は、DI値で24.4ポイントであり、市内全体の数値と大差はなかった。昨年度の同時期は28.6ポイントであり、4.2ポイントの改善（仕入単価減少）が見られる。業種別で見ると、製造業にて今期が上昇したが、来期見込では改善予想されており、一時的な上昇であったと思われる。

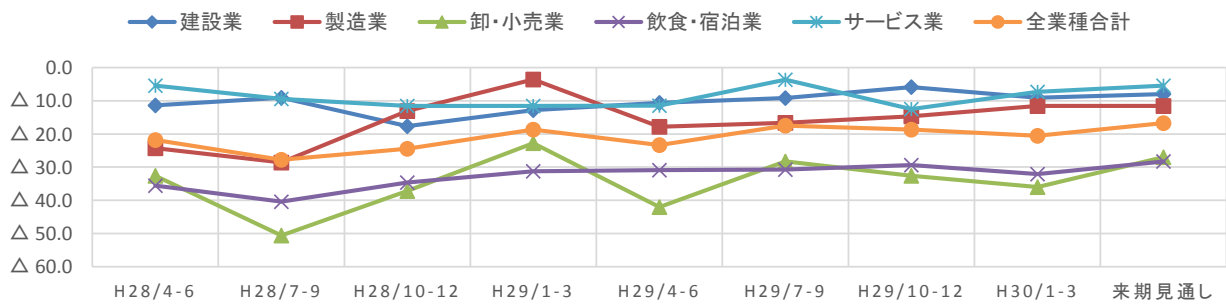
#### 4. 販売（客）単価について

- ・1月～3月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

##### <商工会地域市内全体>



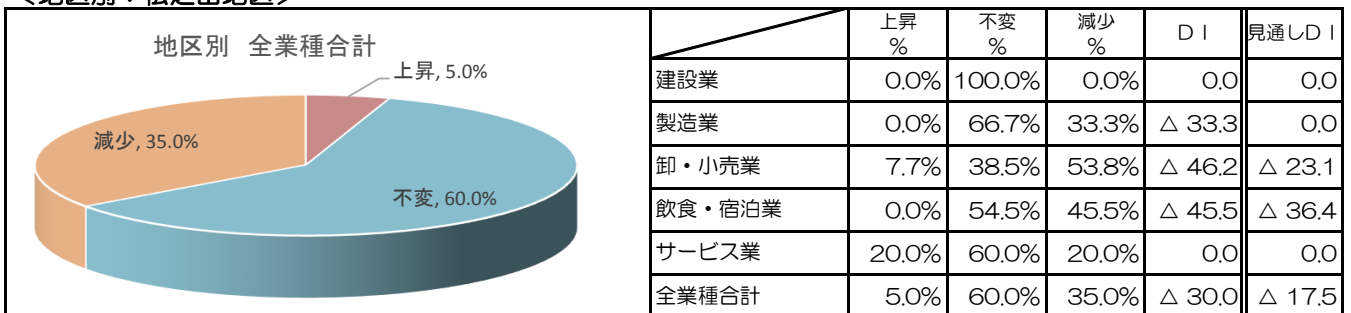
#### 業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



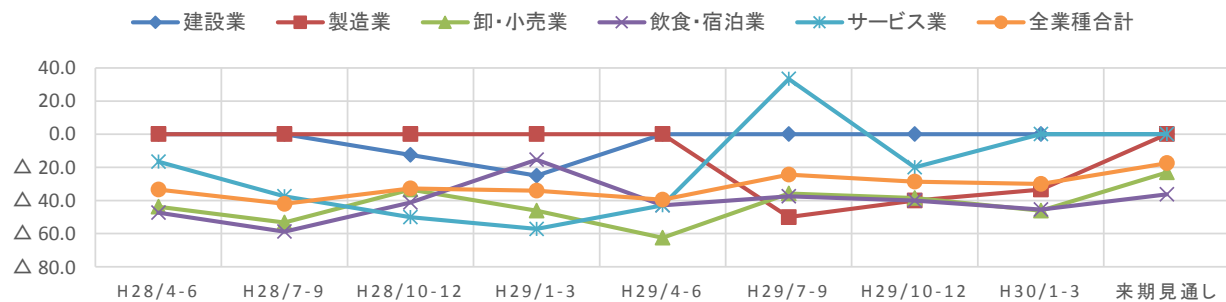
##### <コメント>

販売単価DIは、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが20.6ポイント低下。卸・小売業及び飲食・宿泊業の低下が目立つ。来期見通しDIでは、全業種で若干回復を予想している。

##### <地区別：松之山地区>



#### 業種別販売（客）単価の推移（地区別）



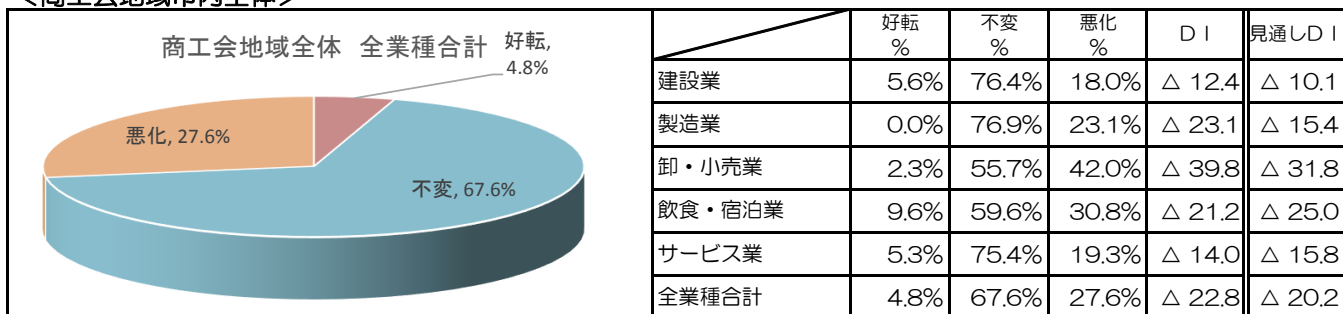
##### <コメント>

当地区の販売単価状況は、DI値で△30.0ポイントであった。全体での昨年度同時期は△34.1ポイントであり4.1ポイントの改善になっている。業種別に見た結果では、飲食・宿泊業が、昨年度△15.4ポイントから今期△45.5ポイントと30.1ポイントも悪化している。その他の業種では改善が見られる。

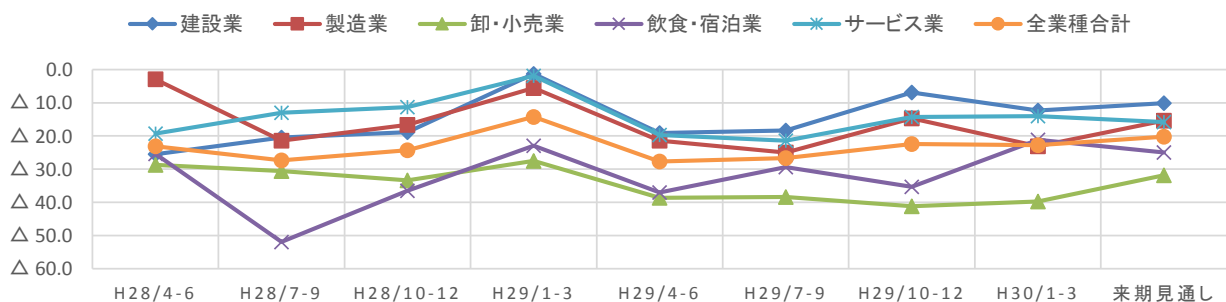
## 5. 資金繰りについて

- ・1月～3月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



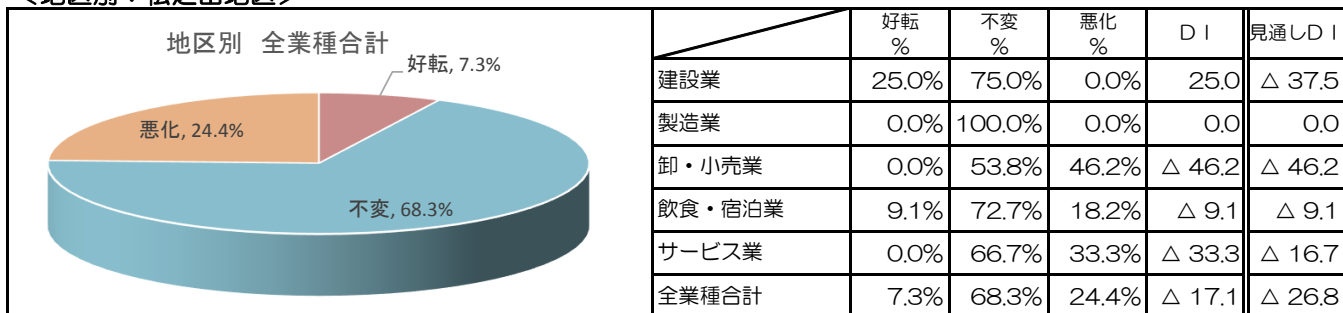
### 業種別資金繰りの推移(市内全体)



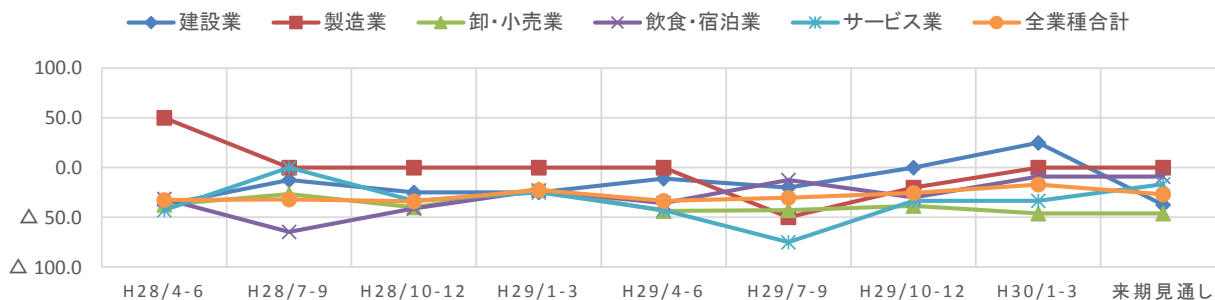
#### <コメント>

資金繰りDIは、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが22.8ポイント悪化。依然として、卸・小売業の悪化が目立つ。来期見通しDIでは、全業種では若干改善を予想しているが、飲食・宿泊業並びにサービス業は悪化を予想している。

### <地区別：松之山地区>



### 業種別資金繰りの推移(地区別)



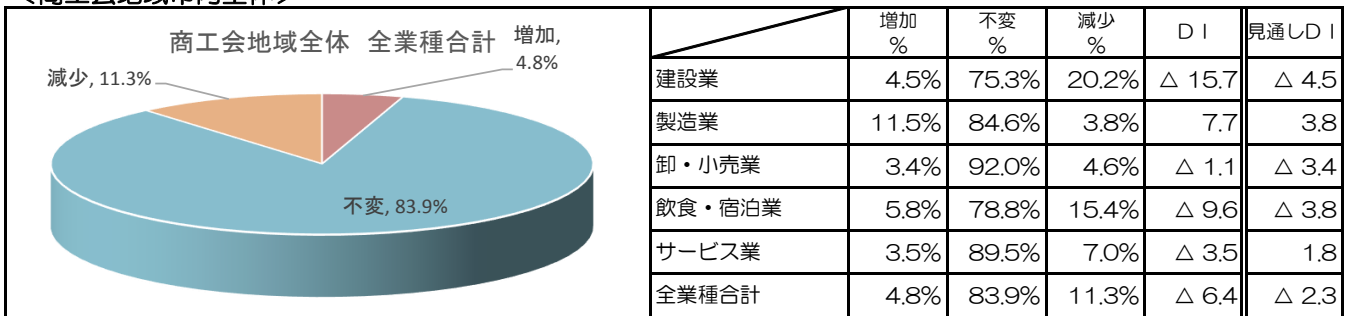
#### <コメント>

当地区の資金繰り状況は、全業種DI値で△17.1ポイントであり、昨年度（△22.7）と比較して5.6ポイント改善された。しかし、業種別では卸・小売業において前年度（△21.4）に比べ24.8ポイント悪化している。サービス業も前年度（△25.0）に比べ8.3ポイント悪化している。

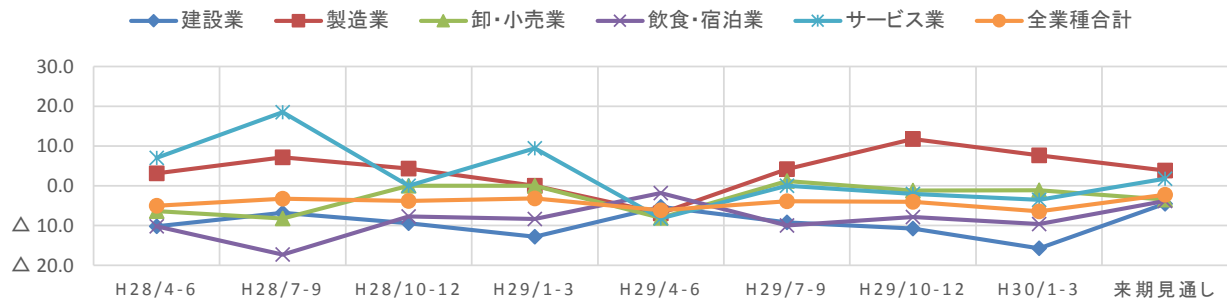
## 6. 従業員数について

- ・1月～3月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



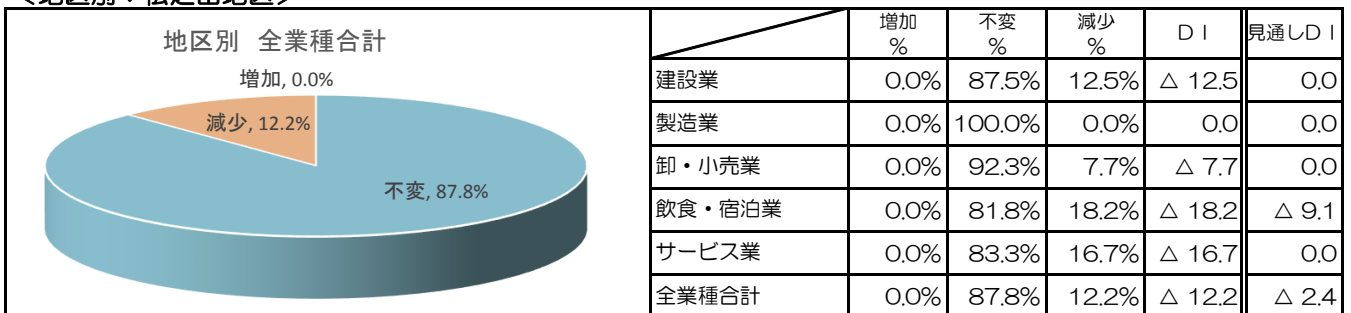
### 業種別従業員数の推移(市内全体)



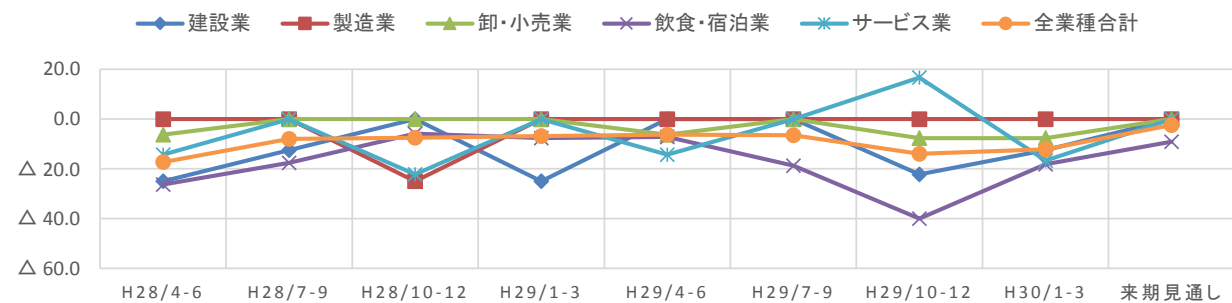
### <コメント>

従業員数DIは、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、6.4ポイント減少。但し、製造業は7.7ポイント増加した。来期見通しDIでは、製造業及び卸・小売業以外は増加を予想している。

### <地区別：松之山地区>



### 業種別従業員数の推移(地区別)



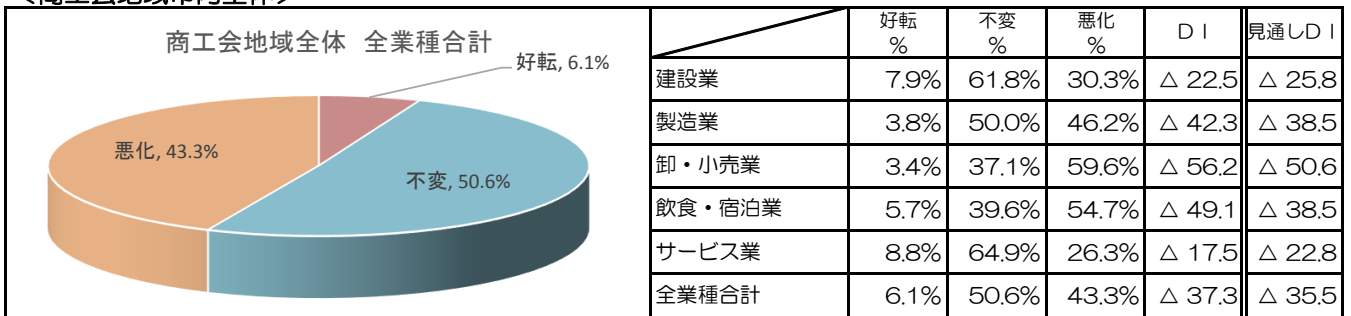
### <コメント>

当地域の今期従業員数は、全業種DI値で△12.2ポイントであり、昨年同時期(△6.8)よりも5.4ポイント悪化した。前期比では若干改善した結果となっているが、増加回答した事業所は無かった。調査期間が冬期間であったこともあり、来期見通しは改善予想されている。

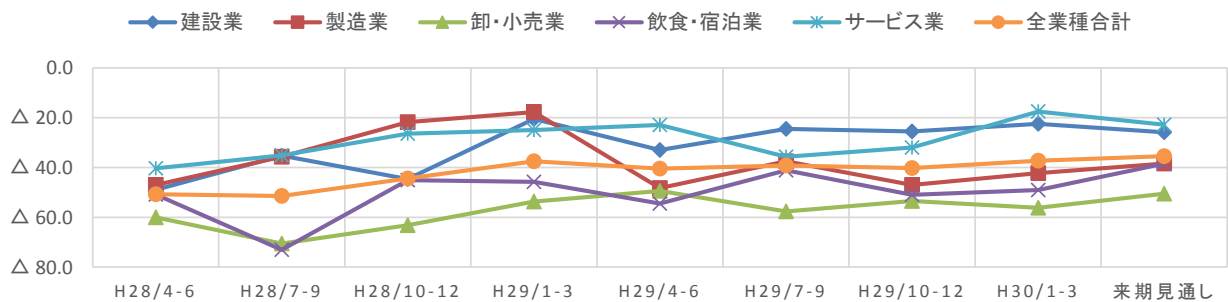
## 7. 景況判断について

- ・1月～3月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



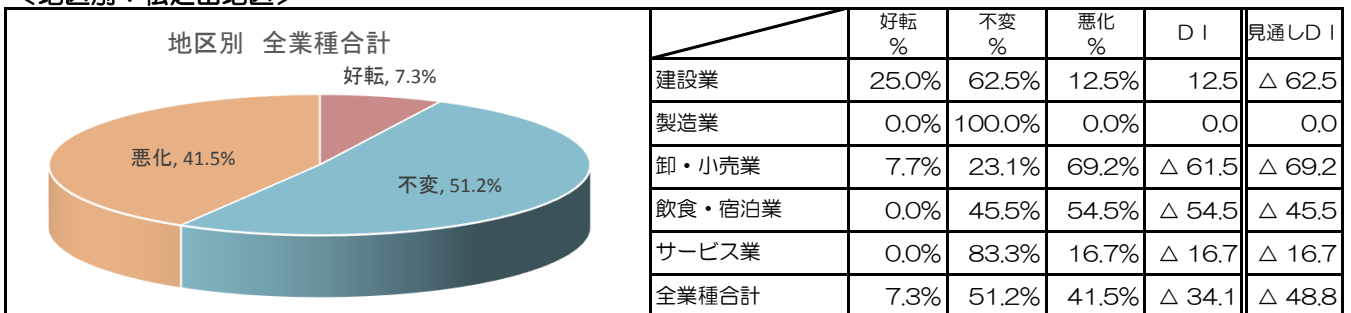
### 業種別景況判断の推移(市内全体)



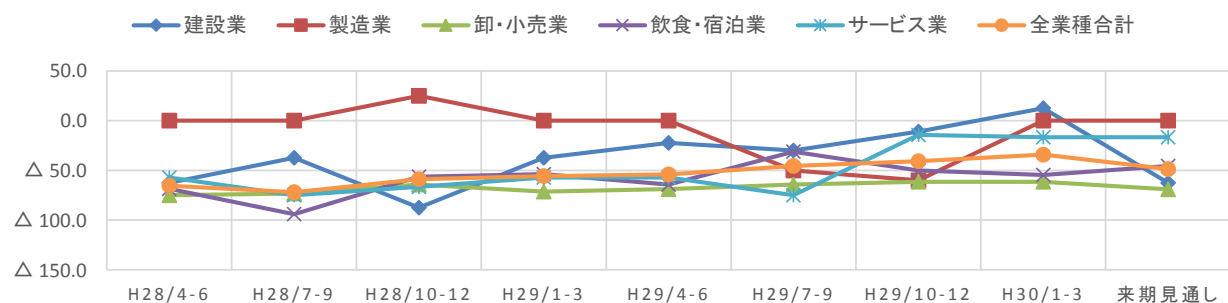
### <コメント>

景況DIは、前年同期と比較して、全業種で37.3ポイント悪化。特に、卸・小売業及び飲食・宿泊業は半数以上が悪化と回答。製造業も悪化傾向である。来期見通しDIは、全業種で35.5ポイント悪化予想であり、厳しい見方をしている。

### <地区別：松之山地区>



### 業種別景況判断の推移(地区別)

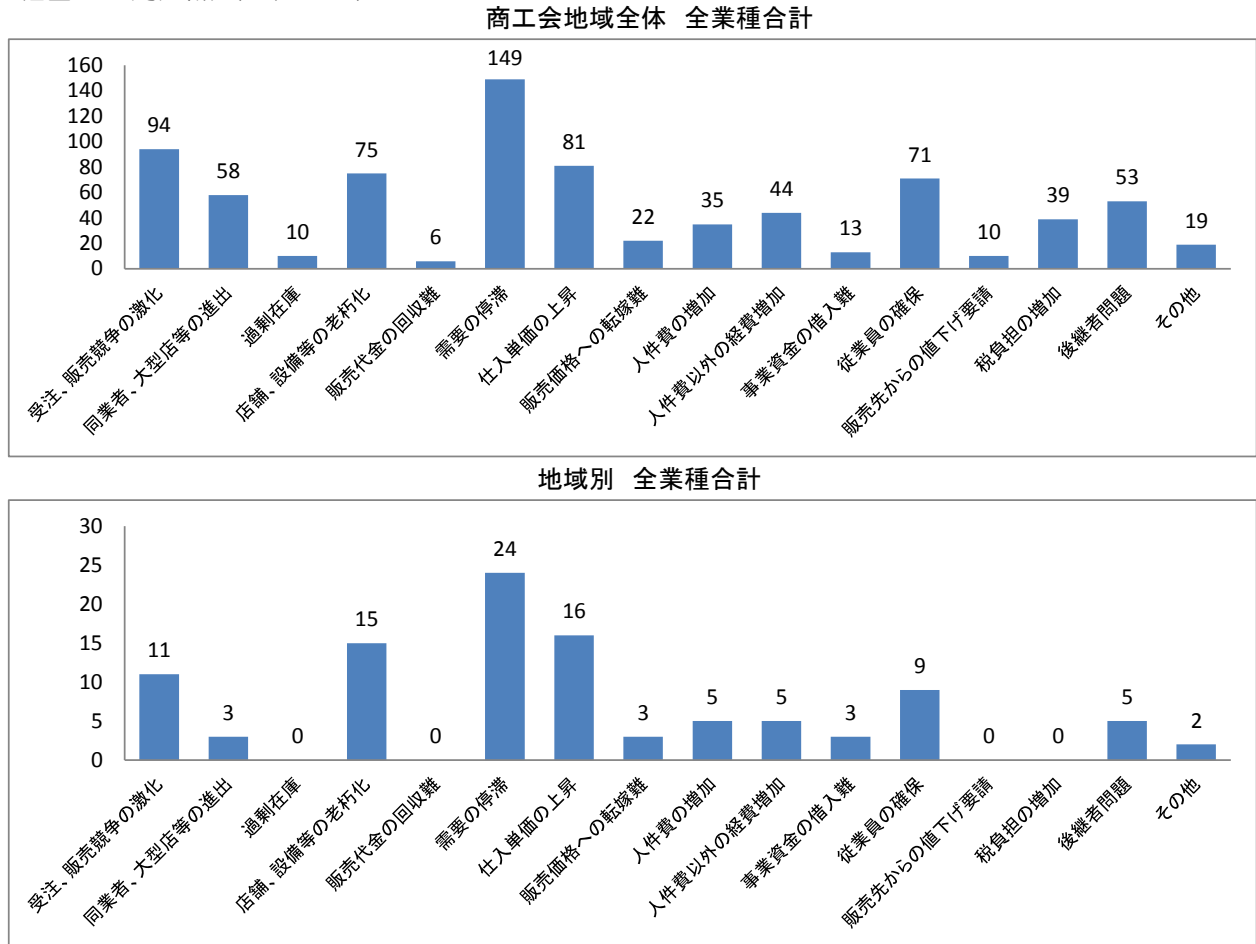


### <コメント>

当地域の景況感は、全業種DI値で△34.1ポイントであった。しかし、不変と回答した事業所数が半数を超えた。不変回答が半数を超えたのは調査を初めてから初めてであり、下げ止まりを期待したいところである。来期見通しで悪化予想されているが、今期、見通し共に昨年度よりは改善されている。



## 8. 経営上の問題点（上位3つ）



### <コメント>

市内全体での経営上の問題点は、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「仕入単価の上昇」であった。  
 当地域の状況は1位が全体同様「需要の停滞」であったが、飲食・宿泊業が多い当地域では2位が「仕入単価の上昇」となっている。3位に「店舗・設備等の老朽化」が挙げられているが、売上の伸び悩みなどの理由から地域内の設備投資は進んでいない状況であると思われる。

## 9. 地区の景況概要

・1月～3月時点での全体概況は

<p><b>【建設業】</b>                      第4四半期の建設業の概要は、調査期間が冬期間であったことから、除雪等による受注増にて売上高が前年同期比で増加となっている。しかし、仕入単価（原価）の上昇が影響してか、採算でのDI値は0ポイントとなっており、好転と悪化が同じ割合であった。                      来期見通しでは全ての項目で悪化予想されており、春先の受注が減少するものと推測できる。経営上の問題では、「従業員の確保」や「従業員の高齢化」などの声もあり、産業雇用安定センターとの連携も視野に入れ支援を考えたいところである。</p>
<p><b>【製造業】</b>                      第4四半期の製造業の概要は、売上DI値も前回調査時より若干改善されている。仕入単価のDI値で価格上昇が見受けられるが、採算及び資金繰りでは不変と回答されており、大きな変動は無いものと思われる。                      来期見通しも大きな変動が無いものと予想されており、地域内でも安定している業種である。</p>
<p><b>【卸・小売業】</b>                      第4四半期の卸・小売業の概要は、全業種の中でDI値のマイナスポイントが一番高い業種であるが、売上DI値が前回調査時（△69.2）から15.4ポイント改善されている。その他の項目DI値は前回調査時とほぼ同じ数値であるが、景況判断においては△61.5ポイントと高いマイナス値が出ており、地域内消費力の低下がうかがえる。                      来期の見通しでは売上、採算の項目において今期より若干改善予測されており、今後の動向に注視したい。</p>
<p><b>【飲食・宿泊業】</b>                      第4四半期の飲食・宿泊業の概要は、調査期間が冬季の閑散期であったこともあり、売上、採算において増加と回答した事業所が無かった。調査項目全体からみると、前年同期比にて不変の事業所が半数で、半数が減少であると思われる。食材等の仕入単価の上昇が影響しやすい業種でもあることから、今後の仕入単価の動向も注視したい。                      来期の見通しは若干であるが改善予想されているものの、大きな変動は無いものと思われる。</p>
<p><b>【サービス業】</b>                      第4四半期のサービス業の概要は、前回調査時の来期の見通しで△71.4ポイント悪化予測されており、心配していたところであるが、今回調査結果は前年同期比で33.3ポイントとなっており、大きく改善されていた。改善幅が大きかったことが関係しているのか、来期見通しは売上、採算ともに悪化予測されている。</p>